

授業科目	心理学	担当講師	非常勤講師
開講年次	1年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	看護の対象である人間の心や行動を多角的に理解する。		
使用テキスト	配布資料		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 心理学とは	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 心理学は何を、どう考えてきたのか</li> <li>2 看護の現場で心理学は、どう活かせるのか</li> <li>3 心理学をどう学んでいくか、授業の進め方</li> </ul>	
2. 自分の意識の成り立ち	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自分とは、どんな要素で成り立っているのか</li> <li>2 自分とは、何をどのように知覚しているのか</li> <li>3 自分の感情は、どのように発生・変化するのか</li> <li>4 記憶と自分は、どのような関係があるのか</li> </ul>	
3. 他者が自分に与える影響	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 他者とは、どのように認識されるのか</li> <li>2 他者は、自分にどんな影響を与えるのか</li> <li>3 承認、自己効力感、動機と他者との関係</li> </ul>	
4. 葛藤が生じる仕組み	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 葛藤とは、どのように生じるのか</li> <li>2 葛藤経験をふりかえる</li> <li>3 いかにか葛藤を乗り越えるか</li> </ul>	
5. 発達段階に応じた接し方	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 身体的発達と、心理的発達の違い</li> <li>2 発達段階に応じた現象、困難</li> <li>3 相手の発達段階に応じて、いかにか接するか</li> </ul>	
6. 多面的な自己	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自分はいつも同じ（であるべき）なのか</li> <li>2 複数の自分が同時に存在することはあるのか</li> <li>3 多面的自己といかに向き合うか</li> <li>4 他者も多面的自己を持つということ</li> </ul>	
7. 援助の考え方	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 困っている時に助けることは良いことなのか</li> <li>2 助けることで生じる問題とは何か</li> <li>3 助ける時に、自分は何を考えているのか</li> </ul>	
8. 集団心理の仕組み	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 多様な人が集った時に、どんな心理が生じるか</li> <li>2 集団の「空気」が個人の心理を生み出す</li> <li>3 集団心理の危うさ</li> <li>4 集合知をいかにか生み出すか</li> </ul>	
9. 学びの総括	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 何を学んできたのか、何がわかったのか</li> <li>2 これからにどう活かすのか</li> </ul>	